

「人にやさしいまちづくり」を目指して ～いすみ地区モビリティサポートモデル事業～

いすみ市モビリティサポート事業推進協議会（いすみ市総務部企画政策課）

千葉県いすみ市では、地域の課題を踏まえ、ユビキタス技術を活用した「人にやさしいまちづくり」の推進を目指し、国土交通省のモビリティサポートモデル事業と連携し、「携帯電話を活用した“まちの情報”や“目的地までのルート”を案内する移動支援サービス」を提供するモバイルシステム『いすみおでかけナビ』を構築し、その効果を検証するため、歩行者の移動支援サービスの提供を実施しました。

その目的は、「高齢者が一人でも安心して外出できる環境づくり」、「二地域居住者にも暮らしやすい（わかりやすい）環境づくり」、「観光客にも行動しやすい環境づくり」であり、いつでも、どこでも、だれもが、必要な情報をその場で手軽に得ることができるよう、携帯電話とQRコードを活用した情報提供やルート案内といった移動支援サービスを行ったものです。

今年度の取組みとしては、第1回目のサービス提供時には、主に観光客を対象に、大原はだか祭り開催期間を含む9月19日から9月27日の期間、また、第2回目には、主に市内居住者の方々を対象に、11月23日から12月20日までの期間について実施しました。



【写真 大原はだか祭り（大原海水浴場）】



【写真 いすみ市観光センター（大原駅前）】

サービス提供の対象エリアは、JR外房線大原駅を中心とした大原中央商店街や大原漁港を含む半径1km内外とし、エリア内のバス停や公共施設等に設置されたQRコードから情報サイト『いすみおでかけナビ』へアクセスしていただき、①イベント情報、②おすすめスポット（遊ぶ・見る・ショッピング・食べる）、③公共施設情報、④バリアフリートイレ・トイレ情報、⑤医療機関情報、⑥交通機関情報（鉄道、バスの時刻表情報、タクシー会社の連



【写真 JR外房線大原駅】

絡先情報)などの情報を提供しました。また、歩きやすい道順の参考に、現在地から目的地までの最短ルート以外に、歩道の段差の有無などを確認できるよう工夫しました。

いすみ市では、今回の取組みを踏まえ、今後の情報提供のあり方を検討し、また、技術の改善に努め、「人にやさしいまちづくり」の実現を目指してまいります。



【図 QRコード設置箇所】



【図 QRコードの使い方 アクセス方法】



【図 携帯電話の画面例 (歩道の属性表示等)】



【写真 バス停に設置されたQRコード】